

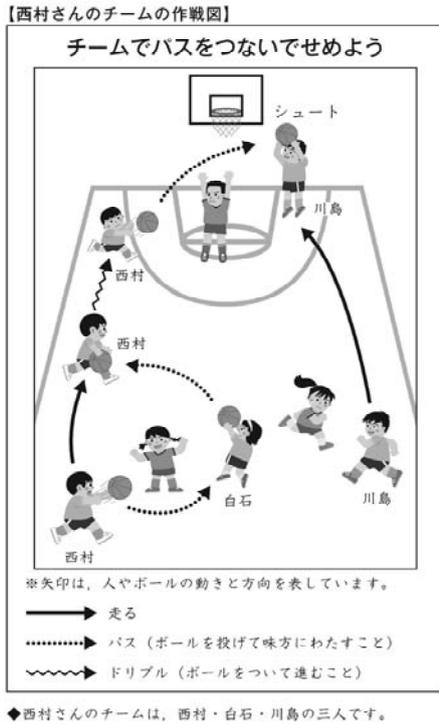
平成28年度学力定着状況たしかめテスト  
小5 国語B  
解説資料

注：本資料は、国立教育政策研究所発行の解説資料  
をまとめ直したものです。

したがって、問題番号、ページ番号等は、全国学  
力・学習状況調査の実施時のものとなっています。

4 図を使って説明するバスケットボールの作戦

4 西村さんの学級では、バスケットボールの学習で、三人対三人でのせめ方や守り方の練習をしています。次は、西村さんのチームのせめ方についてまとめた作戦図です。人やボールの動きを考えて、あとの問いに答えましょう。



一 西村さんのチームでは、ボールをわたす順番を次のように整理しました。次の【A】・【B】にあてはまる人の名前をそれぞれ書きましょう。



二 西村さんのチームでは、チームのせめ方を次のようにまとめました。【ア】・【イ】の中に入るふさわしい内容を「だれが」「いつ」「どこ」が分かるように書きましょう。

まず、コート左側にいる西村さんが、中央にいる【A】さんにパスをします。その後、西村さんは、ゴールに向かって走ります。

次に、ア

そして、西村さんは、ドリブルをしてゴールに向かいます。コートの右側にいる【B】さんも、西村さんの動きに合わせてゴールに向かって走ります。

それから、イ

最後に、【B】さんは、ゴールに向かってシュートをします。

学力定着状況たしかめテスト

1 出題の趣旨

目的や意図に応じて、話の組立てを工夫しながら、図を使って説明することができるかどうかをみる。

自分の目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら、図を使って説明する問題である。

ここでは、バスケットボールの学習において、作戦図を使って攻め方を整理したり説明したりする場面を設定した。ボールをめぐる、誰が、どうしたらよいかを整理し、相手が理解しやすいようにそれぞれの行動を説明することが求められる。

出来事の順序や事柄の相互の関係を整理して分かりやすく伝えるためには、図などの資料を提示することが効果的である。このことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても活用できる。

2 各設問について

設問一

(1) 趣旨

目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出すことができるかどうかをみる。

説明する目的に応じて必要な情報を整理する問題である。本設問は、作戦図におけるボールの移動がどのような順序で行われるかを整理する場面を設定した。

■学習指導要領の領域・内容

A 話すこと・聞くこと（第五・六学年）

ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

(2) 正答について

■正答

【A】 白石

【B】 川島

■解説

○西村を起点とし、白石を中継した後、川島のシュートへつないでいく三人の動きやボールの流れをとらえる必要がある。

(3) 誤答について

■解説

○名前や順序を間違えているものは誤答とする。

設問二ア・イ

(1) 趣旨

目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明することができかどうかをみる。

全体を見通して必要な事柄を明確にし、事柄の相互の関係を整理しながら、「だれが」、「どうする」という観点で説明する問題である。本設問は、作戦の中でチームの一人一人が、他のメンバーとどのように関わることかを接続語を押さえて説明するように設定した。

■学習指導要領の領域・内容

A 話すこと・聞くこと（第五・六学年）

ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

言語活動例（第五・六学年） A 話すこと・聞くこと

自分の考えを資料を提示しながらスピーチをすること

言語事項（第一・二学年）

(1) エ 文及び文章の構成に関する事項

(ア) 文の中における主語と述語との関係に注意すること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

話す・聞く能力

言語についての知識・理解・技能

設問二ア

(2) 正答について

■正答例

○白石さんが、コートの上側を走っている西村さんにパスを返します

○西村さんが、コートの上側を走りながら、白石さんからパスをもらいます

■解説

○白石が西村にパスをすること（西村が白石からパスをもらうこと）に触れて書いているものを正答とする。

(3) 誤答について

■解説

○白石と西村の間におけるパスの流れをとらえていないものは誤答とする。

設問二イ

(2) 正答について

■正答例

○西村さんが、ゴール前に走ってきた川島さんにパスをします

○川島さんが、ゴール前に走っていき、西村さんからパスをもらいます

■解説

○西村が川島にパスをすること（川島が西村からパスをもらうこと）に触れて書いているものを正答とする。

(3) 誤答について

■解説

○西村と川島の間におけるパスの流れをとらえていないものは誤答とする。

### 3 学習指導に当たって

#### (1) 資料を提示しながら説明する

説明や報告をするときには、資料を提示することが効果的である。その際、図表をはじめ、映像や実物などの資料を適切に用いる必要がある。また、話す内容と資料との整合、適切な時間やタイミングでの資料の提示に注意しながら話すようにすることが重要である。

#### (2) 意図が伝わるように話の組立てを工夫して話す

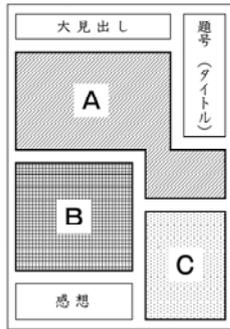
意図を明確に伝えるためには、話の組立てを工夫して説明することが重要である。第一・二学年では、行動の順序、時間の順序などを考えながら話すこと、第三・四学年では、話の中心をはっきり決めて話すこと、話の要点が伝わるように工夫することなどが基盤となる。それらを踏まえて、第五・六学年では、事実と感想、意見との組立て、結論や山場の位置付けなどを効果的に工夫することが重要である。

#### (3) 様々な対象を説明する

事物や事柄といった静的なものの説明や、手順や方法といった動的なものを説明する機会を増やすことが大切である。そのためには、説明的な文や文章を読んだり書いたりする言語活動を多様に経験することが必要である。さらに、目的や意図に応じて説明したことが、相手に理解されているかを確かめたり助言をもらったりすることが重要である。

国語 B 1 目的や意図に応じて新聞を書く〈学校新聞〉

- |   |   |        |
|---|---|--------|
| 4 | A | 紹介と案内  |
| 3 | A | 出来事の報告 |
| 2 | A | 調査の報告  |
| 1 | A | 出来事の報告 |
|   | B | 紹介と案内  |
|   | B | 出来事の報告 |
|   | B | 調査の報告  |
|   | C | 紹介と案内  |
|   | C | 出来事の報告 |
|   | C | 調査の報告  |



〔わり付け〕

― 木村さんたちは、次のような〔わり付け〕にして、「ふれあい新聞（六月号）」を制作しました。A・B・Cにはそれぞれどのような内容が書かれていますか。その組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

**ふれあい新聞（六月号）**

6月号  
2015年（平成27年）  
6月24日  
東小学校  
新聞委員会

五月十日（次、東小学校において、地いきのおじいさんやおばあさんとふれあう交流会を開きました。交流会は、かにもお話をしたり、かたは六年生の進行役をもちだりして、交流を深めることができました。お手紙「けん玉」あやとりや、おはねのあやとり「あやとり」のコーナーに、あやとりの西島あやのさんは、「ほうき」の形の作り方をやさしく教えてもらってうれしかったです。おじいさんやおばあさんから、遊び方や上手にできているコツを教わっていただきました。そのほ

交流で広がる 心の輪

子ども遊び 告白は？

交流会に参加して、おじいさんやおばあさん、あやとりの西島あやのさんは、「ほうき」の形の作り方をやさしく教えてもらってうれしかったです。おじいさんやおばあさんから、遊び方や上手にできているコツを教わっていただきました。そのほ

子ども遊び 告白は？

交流会に参加して、おじいさんやおばあさん、あやとりの西島あやのさんは、「ほうき」の形の作り方をやさしく教えてもらってうれしかったです。おじいさんやおばあさんから、遊び方や上手にできているコツを教わっていただきました。そのほ

地いきの方々どふれあう行事や活動の予定

7月11日（土）	東小バザー
9月26日（土）	東小運動会
10月16日（金）	ふれあい読書会
11月21日（土）	東小祭り

行事の日が近くなりましたら、ちらしをお配りします。地いきのみなさん、ぜひご参加ください。

【編集後記】

多くのおじいさんやおばあさんが交流会に参加してくださり、とてもうれしかったです。昔の遊びをしながらいろいろなお話をうかがうことができました。また交流できることを楽しみにしています。（木村）

1

東小学校の新聞委員会の木村さんたちは、月ごとの学校の様子を新聞にまとめて地域の方々には伝えています。木村さんたちは、次の「ふれあい新聞（六月号）」を書いていきます。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

〔ふれあい新聞（六月号）〕

ここに書いていました。また、参加された中田じよさんは、

ア



## 1. 出題の趣旨

目的や意図に応じ、新聞の割り付けをしたり、見出しや記事を書いたりすることができるかどうかをみる。

目的や意図に応じ、文章全体の構成を工夫したり、必要な内容を整理して書いたりすることは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても重要である。その中でも、新聞は、限られた紙面の中で、目的や意図に応じ、全体の構成や見出し、記事を工夫して書くことが求められる。新聞を書くことは、必要な内容を整理し、相手に分かりやすく表現する力を高める活動として有効な手段の一つである。

本問では、新聞委員会の児童が、地域の方々に月ごとの学校の様子を伝えるために、地域の方々との交流会の様子をまとめた学校新聞を書く場面を設定した。ここでは、目的や意図に応じ、割り付けをすること、読み手の関心を引く見出しを付けること、インタビューの様子を踏まえた記事を書くことが求められる。

設問三については、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くこと」に課題があると指摘していること、また、平成25年度【小学校】国語B②二（正答率26.5%）、三（正答率17.9%）において、「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用したり複数の内容を関係付けたりしながら、自分の考えを書くこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 B 書くこと

イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

目的や意図に応じ、新聞の割り付けをすることができるかどうかをみる。

本設問では、新聞に割り付けられた内容を区別する場面を設定した。ここでは、新聞の各部分に割り付けられた文章の種類や形態の違いを捉えることが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

### ■評価の観点

書く能力

## 解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
1	-	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

【ふれあい新聞（六月号）】に割り付けられた内容が、全体として「出来事の報告」「調査の報告」「紹介と案内」の三つで構成されていることを捉える必要がある。

新聞の中の大見出し「交流で広がる 心の輪」の記事では、5月に行われた交流会の様子を、事実に加えて参加者にインタビューした内容も交えて書いている。これは、「出来事の報告」に当たる。

「子どもの遊び 昔は？」の記事では、参加者を対象にして、子供の頃好きだった遊びを聞き取り、その結果をまとめて書いている。これは、「調査の報告」に当たる。

「地いきの方々とふれあう 行事や活動の予定」の記事の内容は、「紹介と案内」に当たる。

## 設問二

### 趣旨

目的や意図に応じ、記事に見出しを付けることができるかどうかをみる。

本設問では、新聞のトップ記事の内容について、読み手の関心を引き付けるような見出しを付ける場面を設定した。ここでは、記事の内容に関わる見出しの候補の中から、「交流で広がる 心の輪」を選んだ理由について、書き手が狙おうとする効果と表現の仕方を合わせて捉えることが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想，意見などを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

### ■評価の観点

書く能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	二	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

【実際の大見出し】である①「交流で広がる 心の輪」は、この交流により自分たちと地域の方々との心の輪が広がったという考えを伝えるために、強調したい言葉の順番を換えていることを捉える必要がある。これを説明したものは選択肢1である。

②「お手玉 あやとり コツつかむ」の見出しについての説明は、選択肢3である。

③「昔遊びをしてみませんか」の見出しについての説明は、選択肢2である。

選択肢2, 3も見出しの付け方として成立しているが、【実際の大見出し】の「交流で広がる 心の輪」という見出しの説明にはあてはまらない。

## 設問三

### 趣旨

目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことができるかどうかをみる。

本設問では、地域の方々との交流会の様子がより読み手に伝わるように、記事の中に参加者の声を取り上げて書く場面を設定した。ここでは、中田さんの「あやとりのコーナーに参加してよかったわ。」という感想の理由を、【中田とよさんへのインタビューの様子】の中の〈話した内容〉から取り出した上で、〈表情や声の調子〉と関係付けながら書くことが求められる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想，意見などを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

### ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
1	<p>三</p> <p>(正答の条件)            次の条件を満たして解答している。            ① 以下の内容を合わせて書いている。            a 「(一年生のみんなに) 様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」            b 目を細めながら明るい声            * 「目を細めている」、「明るい声」のいずれか一方のみを取り上げているものも含む。            ② 一文で書いている。            ③ 書き出しの言葉に続けて、40字以上、70字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (「また、参加された中田とよさんは、」以下、この書き出しの言葉は省略する。)              「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、目を細めながら明るい声で話してくださいました。(69字)</li> <li>・ 「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、目を細めながら話してくださいました。(64字)</li> <li>・ 「様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、明るい声で話してくださいました。(54字)</li> </ul>	
1	条件①a, bの両方と、条件②, ③を満たしているもの	◎
2	条件①a, bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
3	条件①a, bの両方を満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 「様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、話してくださいました。 明るい声でした。(57字) →上記の例は、一文で書いていない。	
4	条件① a または b のいずれか一方を満たしているもの *条件②, ③を満たしているかどうかは不問とする。 (例1) ○ 「みなさんも準備が大変だったことでしょうか」と、目を細めながら話してくださいました。(58字) →上記の例は、「(一年生のみんなに) 様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」という内容を取り上げていない。 (例2) ○ 「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、話してくださいました。(57字) →上記の例は、「目を細めている」、「明るい声」のどちらの内容も取り上げていない。	
9	上記以外の解答	
0	無解答	

## ■正答について

中田さんへのインタビューを基に、中田さんの「あやとりのコーナーに参加してよかったわ。」という感想の理由が分かる言葉を捉える必要がある。その言葉は、〈話した内容〉の——部直後の「それはね、一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれたからなの」である。

この言葉に合わせる〈表情や声の調子〉の中の内容については、「目を細めている」と「明るい声」の二つを書くことが望ましいが、いずれか一方のみを取り上げた場合でも正答の条件①bを満たしていることとする。

〈話した内容〉と〈表情や声の調子〉を合わせて一文にまとめ、書き出しの言葉に続けて、指定された字数の範囲で書く必要がある。

(参考)

### ○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H21B ①二	報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く	17.8%	P. 34～P. 37	P. 194～P. 198
H25B ②二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	26.5%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64
H25B ②三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	17.9%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 6～P. 7, P. 64～P. 65, P. 100

「平成21年度【小学校】授業アイデア例」P. 2

「平成25年度【小学校】授業アイデア例」P. 11～P. 12

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 新聞の特徴を理解し、目的や意図に応じて紙面全体を構成する (対応設問：設問一)

新聞を書くためには、新聞の特徴に基づいて割り付けをしたり、見出しを付けたり、記事を書いたりすることが重要である。そのためには、新聞を書く目的や意図を明確にもつことができるような指導をすることが大切である。

具体的には、まず、新聞には複数の種類の記事が掲載されていること、一番知らせたい記事が最初に大きく取り上げられていること、記事一つ一つに見出しが付けられていること、記事の中には逆三角形と呼ばれる構成になっているものがあることなどの特徴を理解する必要がある。その上で、誰が何のために発行するのか、どのような情報を伝えたいのか、読み手はどのような情報を望んでいるのかなど、新聞を書く目的や意図を明確にし、紙面全体の構成を考えることが重要である。その際、編集会議を効果的に取り入れ、読み手の関心を引き付けるような割り付けや見出しになっているか、目的や意図に応じた分かりやすい記事になっているか、読み手の理解を補助するための写真や図、表などが効果的に取り入れられているかなどの観点を設けて話し合うような指導をすることも大切である。

**(2) 目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける** (対応設問：設問二)

見出しは、事実だけを伝える場合のみならず、感想や意見を添えて端的に伝える場合がある。見出しを付けるためには、伝えたいことの内容を明確にした上で、様々な表現の仕方とその効果について検討する必要がある。

具体的には、同じ題材を取り扱った様々な記事を集め、それぞれの見出しを比べるなどして、それらの効果について話し合うような指導が考えられる。さらに、書き手の意図を推論しながら、自分なりに考えた見出しを発表し合い、互いの感想や意見を交流するような指導も考えられる。

**(3) 目的や意図に応じて取材した事柄の記事として書く** (対応設問：設問三)

取材した事柄の記事として書く際、事実と感想、意見などを区別する必要がある。また、目的や意図に応じ、伝えたい内容を詳しく書いたり、それ以外の内容を簡単にまとめて書いたりすることも大切である。

具体的には、読み手に伝えたいことの内容を明確にし、自分で調べた内容や、関係者に取材した事柄の中から取捨選択するような指導が考えられる。聞いた内容や分かったこと（事実）だけではなく、取材した相手から受ける印象や自分が感じたこと、考えたこと（感想や意見）などもメモを取っておくことが有効である。メモを用いて記事を書く際は、取材した内容を引用して書くことや、それらを適切な分量にまとめて書くことができるようにすることが大切である。

(参照)「言語活動事例集【小学校版】」P. 51～P. 52



【動物の体】の目次

頭	6	毛	114
目	26	手	131
耳	44	足	158
鼻	68	しっぽ	175
口	91		

【動物園】のさくいん

さくいん	
ア	ハ
カバ	パンダ
カモノハシ	ビーバー
カンガルー	ヒツジ
キリン	ヒョウ
	フクロウ
	ブタ
	フラミンゴ

三 「原田さんのおせん」④には、新たな疑問が書かれています。原田さんは、この疑問を解決するために、次の「動物の体」と「動物園」の二冊の本を使って調べました。それぞれどのページから読み進めたらよいですか。「動物の体」の目次に書かれているページの番号を一つ、「動物園」のさくいんに書かれているページの番号を二つ選んで、それぞれ書きましょう。

すぐれた鼻を使うことで、

④の原田さんは下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。原田さんは、解答用紙に書きましょう。  
 ●の印から書きましょう。どちらから行をえんないで、続けて書きましょう。

120字 100字

### 1. 出題の趣旨

科学に関する本や文章を効果的に読み、分かったことや疑問に思ったことを関係付けながらまとめて書くことができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらに関係付けて読むこと」に課題があると指摘していることを踏まえて出題した。

自分の課題を解決するために、科学に関する本や文章などを読み、書かれている内容と生活経験や既存の知識などを関係付けて考えをまとめることは重要である。

本問では、二人のそれぞれの課題を解決するために、同じ文章を読み、読み取った情報を付箋に書いて整理し、文章にまとめて書く場面を設定した。また、新たな課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む場面を設定した。これらにおいては、必要な情報を取り出し、それらに関係付けながらまとめて書くことや、必要な情報を得るために、目次や索引の中から情報を読み取ることが求められる。

なお、科学に関する本の利用について取り上げたのは、今回が初めてである。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連  
 [第5学年及び第6学年] C 読むこと

イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初にもった疑問を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、ゾウの鼻についての疑問を基に科学に関する本や文章を読み、読み取った情報を付箋に書く場面を設定した。ここでは、付箋に書かれた内容を関係付けながら、原田さんが最初にもった疑問を推測し、まとめて書くことが求められる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

#### ■評価の観点

読む能力

#### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
②	—	
	1	◎
	2	
	9	
	0	

(正答の条件)  
次の条件を満たして解答している。

① 次の a～cのうち、一つ以上の内容を取り上げている。  
a 「(ゾウの鼻は) どうして長いのか。」(理由)  
b 「(ゾウの鼻は) どのようにして長くなったのか。」(経緯)  
c 「長い鼻を使うことでどのようなことができるのか。」(役目)

② 15字以上、40字以内で書いている。

(正答例)

- ・ ゾウの鼻はどうして長いのか、また、長い鼻を使うことでどのようなことができるのか。(40字)
- ・ ゾウの鼻はどうして長いのか、また、どのようにして長くなったのか。(32字)
- ・ ゾウの鼻はどのようにして長くなったのか、また、鼻の役目は何か。(31字)
- ・ ゾウの鼻が長い理由と鼻の役目は何か。(18字)
- ・ ゾウの鼻はどうして長いのだろうか。(17字)
- ・ ゾウの鼻はどうして長くなったのか。(17字)
- ・ ゾウは長い鼻を使うことで、どのようなことができるのか。(27字)

条件①、②を満たしているもの

条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの

(例)

○ ゾウの鼻の役目は何か。(11字)  
→上記の例は、文字数が15字を超えていない。

上記以外の解答

無解答

## ■正答について

- 【原田さんのふせん】①から③までの内容は、【原田さんの疑問】に端を発し、【科学読み物】を読んで分かったこととして、ゾウの鼻について、その長い理由、長くなった経緯、役目などが書かれている。このことを踏まえた上で、【原田さんのふせん】①から③までの内容から【原田さんの疑問】を推測し、15字以上、40字以内にまとめて書く必要がある。

## ■誤答について

- 【原田さんのふせん】①から③までの内容を踏まえて、ゾウの鼻について、その長い理由、長くなった経緯、役目について、いずれも取り上げないで解答しているものは誤答とする。

## (参考)

### ○関連する問題

- ・平成19年度【小学校】国語B<sup>2</sup> (61.0%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 76～P. 77  
「平成19年度【小学校】解説資料」P. 40～P. 42, P. 45  
「平成19年度【小学校】報告書」P. 117～P. 118
- ・平成20年度【小学校】国語B<sup>3</sup> (39.4%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 82～P. 88  
「平成20年度【小学校】解説資料」P. 44～P. 46, P. 48  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 169～P. 170

## 設問二

### 趣旨

分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことができるかどうかをみる。

本設問では、付箋を整理しながら、最初にもった疑問に対するまとめを書く場面を設定した。ここでは、複数の内容を一文にまとめたり、「例えば」という言葉を使って具体的な事例を示したりして、条件に合わせて文章を書くことが求められる。

## ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

## ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度  
読む能力  
書く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型	正答	
②	二	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① ふせん③の内容について、<span style="background-color: #cccccc;">      </span>部の二文を一文にし、以下の内容を取り上げている。</p> <p>a 水場や食べ物をさがすことができる。</p> <p>*「水場」、「食べ物」のいずれか一方のみを取り上げているものも含む。</p> <p>b 仲間を見つけることができる。</p> <p>② ふせん④の内容について、「例えば」という言葉を使って書いている。</p> <p>③ 書き出しの言葉に続けて、100字以上、120字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <p>・ (「すぐれた鼻を使うことで、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) 水場や食べ物をさがすことや、仲間を見つけることもできる。調べていくうちに新たなぎ問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。(120字)</p>		
		1	条件①、②、③を満たしているもの	◎
		2	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの (例) ○ 水場をさがすことや食べ物をさがすことができるし、においのちがいで仲間を見つけることもできる。調べていくうちに新たなぎ問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。(137字) →上記の例は、文字数が120字を超えている。	
		3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 水場や食べ物をさがすことや、仲間を見つけることもできる。調べる中で新たなぎ問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物についてだ。イヌは、どれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。(103字) →上記の例は、ふせん④の内容について、「例えば」という言葉を使って書いている。	
		4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 水場や食べ物をさがすことができる。また、仲間を見つけることもできる。調べる中で新たなぎ問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物とは何かについてだ。例えば、イヌはどれくらい先のにおいを感じ取るのか調べたい。(116字) →上記の例は、ふせん③の内容について、 <span style="background-color: #cccccc;">      </span> 部の二文を一文にして書いている。	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

## ■正答について

- 【野口さんのふせん】③については、「すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。」と「また、においのちがいで仲間を見つけることもできます。」という二文を一文にして書く必要がある。また、【野口さんのふせん】④については、野口さんが新たな疑問として、においを感じ取ることに優れた動物に注目していることを捉えた上で、その具体例として挙げている、イヌがにおいを感じ取る距離について「例えば」という言葉を使って書くことを求めている。これらを踏まえた上で、100字以上、120字以内にまとめて書く必要がある。

## ■誤答について

- 【野口さんのふせん】③の内容を一文にして書いていないものや、【野口さんのふせん】④の内容について「例えば」という言葉を使って書いていないものは誤答とする。

## (参考)

### ○関連する問題

- ・平成20年度【小学校】国語B<sup>2</sup>三 (45.3%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 80～P. 81  
「平成20年度【小学校】解説資料」P. 42～P. 43  
「平成20年度【小学校】報告書」P. 168
- ・平成22年度【小学校】国語B<sup>4</sup> (65.7%)  
(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 84～P. 86, P. 106  
「平成22年度【小学校】解説資料」P. 48～P. 50  
「平成22年度【小学校】報告書」P. 136～P. 139  
「平成22年度【小学校】授業アイデア例」P. 5
- ・平成25年度【小学校】国語B<sup>2</sup>三 (17.9%)  
(参照)「平成25年度【小学校】解説資料」P. 46～P. 49  
「平成25年度【小学校】報告書」P. 60～P. 64  
「平成25年度【小学校】授業アイデア例」P. 11～P. 12

## 設問三

### 趣旨

課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読むことができるかどうかをみる。

本設問では、新たな課題を解決するために、二冊の本を読む場面を設定した。ここでは、本の目次や索引から必要な情報が掲載されたページを正確に書くことが求められる。

## ■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

## ■評価の観点

読む能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
②	三	1	目次に「68」ページ、さくいんに「69」ページ、「71」ページと解答しているもの	◎
		2	さくいんに「69」ページ、「71」ページと解答しているが、目次に「68」ページと解答していないもの	
		3	目次に「68」ページと解答しているが、さくいんに「69」ページ、「71」ページと解答していないもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

- 【原田さんのふせん】④では、「カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。」という新たな疑問が示されている。このことを踏まえ、目次については「鼻」の内容が書かれている「68」ページから読み進めることが求められる。また索引については「カバ」と「ブタ」について書かれている「69」ページと「71」ページを読むことが求められる。これらを的確に捉えた上で、ページの番号を書く必要がある。

### ■誤答について

- 目次に「68」ページ、索引に「69」ページ、「71」ページと解答していないものは誤答とする。

### (参考)

#### ○関連する問題

- ・平成19年度【小学校】国語B④― (63.0%)

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P.10～P.11, P.78～P.79

「平成19年度【小学校】解説資料」P.49～P.50

「平成19年度【小学校】報告書」P.125

## 3. 学習指導に当たって

- (1) 疑問に思ったことや分かったことなどを関係付けながら自分の考えを広げたり深めたりする  
(対応設問：設問一・二)

自分の課題を解決するために、科学に関する本や文章などを読み、疑問に思ったことや分かったことなどを関係付けながら自分の考えを広げたり深めたりすることが重要である。そのためには、児童が主体的に必要な情報を収集し整理する中で、自分の考えの広がりや深まりを実感できるように指導することが大切である。

具体的には、設問二で示したように、疑問に思ったことや分かったことなどを、付箋を使って分類することで、最初の疑問がどのように解決されたのか、新しい疑問がどのような事実から生まれたのかなど、課題解決の過程を振り返ることができるように指導することが考えられる。その際、疑問に思ったこと、分かったことなどを色の違う付箋に書き分けることで、事実と感想、意見などを区別して捉えることができるように指導することが効果的である。

### (参照)

- ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校国語】」P.55
- ・「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編）」P.31

## (2) 調べ学習に関連する本や文章を効果的に読む (対応設問：設問三)

調べ学習を行う際、関連する様々な本や文章を併せて読むことが重要である。そのためには、興味をもったことや疑問に思ったことの中から課題を設定し、それに対する解答や結果の予想を立て、どのような方法で必要な情報を収集するとよいかなど、解決のための見通しをもって本や文章を読むことができるように指導することが大切である。その際、十進分類法の概略や本の配置についての知識、目次や索引の使い方、事典などの特色などを知り、発達の段階に応じて本の活用の仕方を身に付けることができるようにすることが大切である。

(参照)

- ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校国語】」  
P. 44～P. 45

## 4. 出典等

<科学読み物>

- ・絵 木村しゅうじ 解説 小森厚 『どうぶつえんのどうぶつあんない』  
(1985年7月 株式会社福音館書店)
- ・監修 中川志郎 構成・文 わしおとしこ 『ふしぎ発見シリーズ② どうぶつのはな』  
(1995年3月 株式会社アリス館)
- ・著者 カー・ウータン博士 絵 カナヨ・スギヤマ 『ANIMAL PICTURES BOOK ゾウの本』  
(1997年2月 株式会社講談社)
- ・監修 柴内俊次 構成・文 有限会社ネイチャー・プロ編集室 『進化がわかる動物図鑑  
ゾウ・ハイラックス・ジュゴン』(1998年3月 株式会社ほるぷ出版)
- ・文 オナー・ヘッド 絵 マシュー・ニコラス 日本語版監修 今泉忠明 訳 ゆりよう子  
『どうぶつのおやこ ゾウ』(2000年3月 株式会社小峰書店)
- ・著者 吉村卓三 『おかしないきもの』(2002年4月 株式会社コスモトゥーワン)
- ・監修 成島悦雄 文 佐々木聖／三品隆司／高岡昌江／西川寛  
『これだけは知っておきたい(2) 動物の大常識』(2003年9月 株式会社ポプラ社)
- ・監修 今泉忠明 執筆 大木邦彦 『ポプラディア情報館 動物のふしぎ』  
(2008年3月 株式会社ポプラ社)
- ・文 山本省三 絵 喜多村武 監修 遠藤秀紀 『動物ふしぎ発見 ゾウの長い鼻には、  
おどろきのわけがある!』(2008年3月 株式会社くもん出版)
- ・監修 増井光子 『くらべてみよう! どうぶつのあかちゃん③ ゾウ』  
(2008年3月 株式会社ポプラ社)
- ・監修 増井光子 編著 ネイチャー・プロ編集室 『どうぶつのはな② どうぶつのはな』  
(2010年1月 株式会社偕成社)

などによる。

<写真>

- ・監修 堀浩 写真撮影 内山晟 『BIG SCIENCE おおきなかがく この はな だれの?』  
(2006年6月 株式会社ひさかたチャイルド) による。